



持続可能なエネルギー循環社会を目指す

金山町でのヤマトダマ試験栽培 記者発表

yori-i project 「産業」アジェンダリーダー
猪井 隆之

山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業
yamagata yori-i project
2024年2月13日





「産業の強化と変革」

ヒアリング結果・課題

- ① 農業産出額が低い
- ② 耕作地の減少
- ③ 海外向け観光業の振興
- ④ 高いエネルギー支出
- ⑤ 自然エネルギー資源の未活用

既存産業や新規産業を持続可能な形に変革していくため、
様々な分野からアプローチしていく

農業 畜産業 耕作放棄地 インバウンド バイオマスエネルギー

など

株式会社オウルテス 株式会社かねやま須藤農園

金山町中山間地域の農地を活用し、地域内のエネルギー源を確保する

ヤマトダマ栽培による最上地域での熱源を確保

産業アジェンダのテーマとして、地域内のエネルギー源を確保することを目的に、株式会社オウルテスが開発した早生種である「ヤマトダマ」の活用を目指して、株式会社かねやま須藤農園と連携した試験栽培を実施いたします。

産業アジェンダとして、株式会社オウルテスと株式会社かねやま須藤農園の複数回に渡る打合せをアレンジすると共に、実施内容の整合を図ることで、今回の試験栽培に至っております。

ヤマトダマとは？

バイオマス燃料を作ることに特化した新品種の植物

杉・檜は成長まで30年から50年
ヤマトダマは半年で6mまで成長

種植えから燃料化までが短期間
燃料材の生産効率は杉・檜の39倍

1粒の種子から300粒から500粒の
種子を収穫できるため大量生産が可能





yamagata yori-i project

ALTES. 株式会社オウルテス

×

株式会社かねやま須藤農園

- yori-i projectが枠組み形成サポートを担う。
- 株式会社オウルテスが種の提供、栽培支援を行う。
- 株式会社かねやま須藤農園が株式会社オウルテスのサポートを受けながら、農地でヤマトダマの試験栽培を行う。

テーマリーダー 株式会社オウルテス



代表取締役 藤村 慎一 氏

1965年宮崎県生まれ。JA都城に新卒入社、26歳で独立し(株)oneheart設立、不動産業の一環で当時では画期的だったEV充電機設置に挑む。JA・不動産業の経験から自らのライフワークを農業振興による環境問題の解決に据え(株)オウルテスにてバイオマス事業を推進。

ボードメンバー 株式会社かねやま須藤農園



農園長 須藤 典夫氏

1954年生まれ

稲作、園芸、野菜栽培、及び食品製造業を行う。冬季限定で地元特産品のくじら餅、蒸しようかんの製造、発送なども行う。金山町議としてもご活躍されている。

